

項目No.	項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
011	T-Cholesterol *	コレステロール酸化酵素法	142-248 (臨床判断値: <220)	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS) (動脈硬化性診療ガイドライン2017年版)	—	○	—		2時間以内	採血後7日
012	P-Lipid	酵素法	145-260	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
013	TG *	酵素の測定法 (H2O2比色法)	男性: 40-234 女性: 30-117 (臨床判断値: <150)	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS) (動脈硬化性診療ガイドライン2017年版)	—	○	—		2時間以内	採血後7日
018	HDL-C *	選択的抑制法	男性: 38-90 女性: 48-103 (臨床判断値: ≥40)	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS) (動脈硬化性診療ガイドライン2017年版)	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
710	LDL-C *	選択的可溶化法	65-163 (臨床判断値: <140)	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS) (動脈硬化性診療ガイドライン2017年版)	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
021	AST	JSCC標準化対応法	13-30	U/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≥500	○	—		2時間以内	採血後7日
022	ALT *	JSCC標準化対応法	男性: 10-42 女性: 7-23 (臨床判断値: ≤30)	U/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS) (専門医との協議による)	≥500	○	—		2時間以内	採血後7日
023	LDH	IFCC標準化対応法	124-222	U/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≥1000	○	—		2時間以内	採血後当日
024	ALP	IFCC標準化対応法	38-113	U/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		2時間以内	採血後7日
031	ChE	JSCC標準化対応法 (p-ヒドロキシベンゾイルコリン)	男性: 240-486 女性: 201-421	U/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		2時間以内	採血後7日
041	TP	ビューレット法	6.6-8.1	g/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—	2時間以内	採血後7日	
707	Alb定量	BCP改良法	4.1-5.1	g/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—	2時間以内	採血後7日	
2210	グリオアルブミン	酵素法	11~16	%	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日	
042	T-Bil *	酵素法	0.4-1.5 (臨床判断値: ≤1.2)	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS) (専門医との協議による)	≥20.0	○	—	2時間以内	採血後当日	
043	D-Bil	酵素法	≤0.2	mg/dL	試薬添付文書	—	○	—	採取容器: ① 採取量: 8 mL 検体種別: 血清	2時間以内	採血後当日
051	GT	JSCC-IFCC標準化対応法 (γ-グルタミル-3-カルボキシル-4-ニトロフェニル)	男性: 13-64 女性: 9-32	U/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—	搬送条件: 室温 保存期間: 7日	2時間以内	採血後7日
052	BUN	ウレアーゼGLDH法 (NH3消去法)	8.0-20.0	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≥80.0	○	—	2時間以内	採血後7日	
053	Cre	酵素法 (H2O2比色法)	男性: 0.65-1.07 女性: 0.46-0.79	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≥8.0	○	—	2時間以内	採血後7日	
1750	eGFR	計算項目 (ただし15歳以上で算出)	≥60 *	mL/min/1.73m ²	CKD診療ガイドライン2018	—	○	—	2時間以内	採血後7日	
054	UA *	ウリカーゼPOD法	男性: 3.7-7.8 女性: 2.6-5.5 (臨床判断値: ≤7.0)	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS) (日本フリンクリシジン代謝学会コンセンサス(1996))	—	○	—	2時間以内	採血後7日	
061	AMY	JSCC標準化対応法 (4,6-エチデン-β-D-グルコサミン基質)	44-132	U/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≥1000	○	—	2時間以内	採血後7日	
705	P-AMY	JSCC標準化対応法 (4,6-エチデン-β-D-グルコサミン基質)	16-52	U/L	シノテスト推奨基準範囲	—	○	—	2時間以内	採血後7日	
062	無機リン(IP)	酵素法	2.7-4.6	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—	2時間以内	採血後7日	
75	亜鉛	直接法	80-130	μg/dL	シノテスト推奨基準範囲	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日	

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。


※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目No.	項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
063	CK	JSCC標準化対応法	男性：59-248 女性：41-153	U/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≥1000	○	—		2時間以内	採血後7日
704	CK-MB	免疫阻害法	<12	U/L	シノテスト推奨基準範囲	—	○	—		2時間以内	採血後7日
064	Ca	7メチル [®] Ⅲ法	8.8-10.1	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≤6.0, ≥12.0	○	—		2時間以内	採血後7日
071	Na	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	138-145	mmol/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≤115, ≥165	○	—		2時間以内	当日中
072	K	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	3.6-4.8	mmol/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≤2.0, ≥6.5	○	—		2時間以内	当日中
073	Cl	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	101-108	mmol/L	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		2時間以内	当日中
074	Mg	酵素法	1.8-2.4	mg/dL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
045	胆汁酸	酵素サイクリング法	≤10.0	μmol/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
095	Fe	Nitroso-PSAP法	40-188	μg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		2時間以内	採血後7日
702	UIBC	Nitroso-PSAP法	男性：111-255 女性：137-325	μg/dL	シノテスト推奨基準範囲	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
703	TIBC	計算項目	—	μg/dL	—	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
065	シスタチンC	ラテックス法	男性：0.63-0.94 女性：0.52-0.85	mg/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
066	eGFR _{cre}	計算項目	≥60 *	mL/min/1.73m ²	CKD診療ガイドライン2018	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
140	ICG(停滞率)	用手法	≤10.0	%	臨床検査法提要第33版	—	×	平日 16:00	※ 遮光して提出	原則当日	採血後7日
374 375 376 377 378 379 380	蛋白分画	キャピラリー電気泳動法	Alb分画：55.8-66.1 α1-G：2.9-4.9 α2-G：7.1-11.8 β1-G：4.7-7.2 β2-G：3.2-6.5 γ-G：11.1-18.8 A/G：設定なし	%	Sebia社推奨基準範囲	—	×	平日 16:00	採取容器：① 採取量：8 mL 検体種別：血清	2時間以内	採血後7日
499	CYFRA	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤2.8 (肺良性疾患を対象) <3.5 *	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	搬送条件：室温 保存期間：7日	2時間以内	採血後7日
517	FT3	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	2.3-4.0	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
504	FT4	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	0.9-1.7	ng/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
518	PSA	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤4.0	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日
505	IgE	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤232	IU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日




※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目No.	項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
506	CEA	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	<5.68	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
507	AFP	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤7.0	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
1760	AFP-L3%	LBA法 (Liquid-phase Binding Assay)	<10	%	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
508	CA19-9	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤37.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
509	SCC	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	0.6-2.5	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
769	NT-proBNP	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	(22.5~47.5歳)男性:55 女性:55 (40~59歳)男性:77 女性:121 (60~88歳)男性:131 女性:165 (心不全除外カットオフ値)<125 *	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後6日
764	高感度心筋トロポニンT	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	<100	ng/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後24時間
766	高感度心筋トロポニンI	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	≤34.2	ng/L	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後24時間
767	ミオグロビン定量	ラテックス法	<70	ng/mL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後3日
510	Feritin	ラテックス凝集法	男性:13-277 女性:5-152	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
511	β 2MG (S)	ラテックス凝集法	0.9-2.0	mg/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
512	β 2MG (U)	ラテックス凝集法	≤ 289	μg/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		3時間以内	採取後7日
513	CA125	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤35.0 (良性婦人科疾患を対象)<150 *	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日
514	NSE	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤16.3	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日
516	CA15-3	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤25	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日
520	インスリン	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	≤18.7	μIU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		採取容器:① 採取量:8 mL 検体種別:血清	2時間以内
530	TSH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	0.61-4.23	μIU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	搬送条件:室温 保存期間:7日	2時間以内	採血後7日
540	コレチゾール	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	6時-10時:7.07-19.6 16時-20時:2.96-9.77	μg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後4日	
550	HGH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性:≤2.47 女性:0.13-9.88	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後24時間	
580	PRL	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性:4.29-13.69 女性(閉経前):4.91-29.32 女性(閉経後):3.12-15.39	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日	
560	LH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性:2.2-8.4 女性(排卵期):1.4-15.0 女性(排卵期):8.0-100 女性(黄体期):0.5-15.0 女性(閉経後):11.0-50.0	mIU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日	

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目No.	項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間	
570	FSH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性：1.8-12.0 女性(卵胞期)：3.0-10.0 女性(排卵期)：5.0-24.0 女性(黄体期)：1.3-6.2 女性(閉経後)：26.0-120	mIU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
598	E2	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性：14.6-48.8 女性(卵胞期)：28.8-196.8 女性(排卵期)：36.4-525.9 女性(黄体期)：44.1-491.9 女性(閉経後)：≤47.0 妊娠初期：208.5-4289.0 (4週0日-13週6日) 妊娠中期：2808.0-28700.0 (14週0日-27週6日) 妊娠後期：9875.0-31800.0 (28週0日-38週)	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後2日	
599	プロゲステロン	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性：≤0.20 女性(卵胞期)：≤0.3 女性(排卵期)：≤5.7 女性(黄体期)：2.1-24.2 閉経後：≤0.3 妊娠初期：13.0-51.8 (4週0日-13週6日) 妊娠中期：24.3-82.0 (14週0日-27週6日) 妊娠後期：63.5-174.4 (28週0日-38週)	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日	
600	テストステロン	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	男性：1.31-8.71 女性：0.11-0.47 (卵胞期, 排卵期, 黄体期) 女性(閉経後)：0.04-0.43	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後5日	
319	MMP-3	ラテックス免疫比濁法	男性：36.9-121 女性：17.3-59.7	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
344	RPR定性	ラテックス免疫比濁法	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 採取容器：① 採取量：8 mL 検体種別：血清 搬送条件：室温 保存期間：7日 </div>	2時間以内	採血後7日
345	TPLA定性	ラテックス免疫比濁法	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00			2時間以内	採血後7日
349	RPR定量	ラテックス免疫比濁法	<1.0	R. U	試薬添付文書	—	×	平日 16:00			2時間以内	採血後7日
395	TPLA定量	ラテックス免疫比濁法	<10	T. U	試薬添付文書	—	×	平日 16:00			2時間以内	採血後7日
351	Ig-G	TIA法 (免疫比濁法)	861-1747	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日	
352	Ig-A	TIA法 (免疫比濁法)	93-393	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日		
353	Ig-M	TIA法 (免疫比濁法)	男性：33-183 女性：50-269	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日		
361	補体C3	TIA法 (免疫比濁法)	73-138	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日		
362	補体C4	TIA法 (免疫比濁法)	11-31	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日		

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目No.	項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
381	HCV関連抗体	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<1.0	S/CO	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
393	HBs抗原 (定性)	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	(-)	—	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
382	HBs抗原 (定量)	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<0.05	IU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
383	HBc抗体	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<10.0	mIU/mL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
419	HBc抗体	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<1.00	S/CO	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
390	HTLV抗体 (定性)	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	(-)	—	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
391	HTLV抗体 (定量)	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<1.0	S/CO	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
397	HIV	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	(-)	—	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後7日
392	PIVKA-2	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<40	mAU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
451	KL-6	ラテックス凝集法	<500	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
452	IL-2R	CLEIA法 (化学発光酵素免疫測定法)	121-613	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
745	CRP	ラテックス免疫比濁法	0.00-0.14	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		2時間以内	採血後7日
320	RF定量	ラテックス免疫比濁法	≤15	IU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	 <p>採取容器：① 採取量：8 mL 検体種別：血清</p> <p>搬送条件：室温 保存期間：7日</p>	2時間以内	採血後7日
367	プレアルブミン	TIA法 (免疫比濁法)	男性：23-42 女性：22-34	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
368	トランスフェリン	TIA法 (免疫比濁法)	男性：190-300 女性：200-340	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
369	レチノール結合蛋白	ラテックス凝集比濁法	男性：2.7-6.0 女性：1.9-4.6	mg/dL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後7日
2215	プロカルシトニン	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	0.5	ng/mL	試薬添付文書	—	×	—		2時間以内	採血後48時間
498	トータルHCG	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	<5.0 最終月経からの妊娠週数 1~10 : 202-231000 11~15 : 22536-234990 16~22 : 8007-50064 23~40 : 1600-49413	mIU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	2時間以内	採血後7日	

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目No.	項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間	
2841	CTDスクリーン (抗核抗体)	FEIA法	(陰性) ≤ 1.0 (陽性) > 1.0	Ratio	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		3時間以内	採血後7日	
2843	抗dsDNA抗体	FEIA法	(陰性) < 10 (疑陽性) 10~15 (陽性) > 15	IU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		3時間以内	採血後7日	
2845	抗ssDNA抗体	FEIA法	(陰性) < 7.0 (疑陽性) 7.0~10.0 (陽性) > 10.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		3時間以内	採血後7日	
2847	抗Sm抗体	FEIA法	(陰性) < 7.0 (疑陽性) 7.0~10.0 (陽性) > 10.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		3時間以内	採血後7日	
2849	抗RNP抗体	FEIA法	(陰性) < 3.5 (疑陽性) 3.5~5.0 (陽性) > 5.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		3時間以内	採血後7日	
2851	抗SS-A抗体	FEIA法	(陰性) < 7.0 (疑陽性) 7.0~10.0 (陽性) > 10.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		3時間以内	採血後7日	
2853	抗SS-B抗体	FEIA法	(陰性) < 7.0 (疑陽性) 7.0~10.0 (陽性) > 10.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		3時間以内	採血後7日	
2855	抗Scl-70抗体	FEIA法	(陰性) < 7.0 (疑陽性) 7.0~10.0 (陽性) > 10.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		3時間以内	採血後7日	
2857	抗Jo-1抗体	FEIA法	(陰性) < 7.0 (疑陽性) 7.0~10.0 (陽性) > 10.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		3時間以内	採血後7日	
2859	抗セントロメア抗体	FEIA法	(陰性) < 7.0 (疑陽性) 7.0~10.0 (陽性) > 10.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		採取容器：① 採取量：8 mL 検体種別：血清	3時間以内	採血後7日
2861	MPO-ANCA	FEIA法	(陰性) < 3.5 (疑陽性) 3.5~5.0 (陽性) > 5.0	IU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00		搬送条件：室温	3時間以内	採血後7日
2863	PR3-ANCA	FEIA法	(陰性) < 2.0 (疑陽性) 2.0~3.0 (陽性) > 3.0	IU/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00			3時間以内	採血後7日
2865	抗OL-β2GP1複合体抗体	FEIA法	(陰性) < 10 (陽性) ≥ 10	GPL-U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00			3時間以内	採血後7日
2867	抗ミトコンドリア膜抗体	FEIA法	(陰性) < 7.0 (疑陽性) 7.0~10.0 (陽性) > 10.0	U/mL	試薬添付文書	—	×	平日 12:00			3時間以内	採血後7日

項目No.	項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
603等	特異IgE	FEIA法	(陰性) クラス 0 : <0.35 (疑陽性) クラス 1 : 0.35-0.69 (陽性) クラス 2 : 0.7-3.49 (陽性) クラス 3 : 3.5-17.49 (陽性) クラス 4 : 17.5-49.99 (陽性) クラス 5 : 50-99.99 (陽性) クラス 6 : ≥100	UA/mL	試薬添付文書	—	×	平日 14:00	採取容器 : ① 採取量 : 8 mL 検体種別 : 血清 搬送条件 : 室温 保存期間 : 7 日	3時間以内	採血後7日

<アレルギー 院内実施項目>

吸入性 アレルギー	室内塵・ダニ	ハウスダスト1 ハウスダスト2 ヤケヒョウヒダニ コナヒョウヒダニ
	樹木花粉	ハンノキ(属) スギ ヒノキ シラカンバ
	雑草花粉	ブタクサ ヨモギ タンポポ(属) アキノキリンソウ
	イネ科花粉	ハルガヤ カモガヤ オオアワガエリ
	昆虫(虫体、鱗粉、塵毛)	ゴキブリ ユスリカ ガ
	真菌・細菌	ペニシリウム クラドスポリウム アスペルギルス カンジダ アルテルナリア 黄色ブドウ球菌A 黄色ブドウ球菌B カビマルチ マラセチア
	動物皮膚	ネコ イヌ
食物性 アレルギー	卵	卵白 卵黄 オボムコイド(耐熱性卵蛋白)
	牛乳	ミルク
	穀類	小麦 グルテン ω-5 グリアジン 米 ソバ
	豆類・ナッツ	ピーナッツ 大豆
	魚介類	エビ カニ マグロ イクラ
	肉	豚肉 鶏肉



※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
白血球数	フローサイトメトリー法	3.3-8.6	× 10 ³ /μL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≤0.2, ≥30	○	—		30分	採血後8時間以内
赤血球数	シースフローDC検出法	男性: 4.35-5.55 女性: 3.86-4.92	× 10 ⁶ /μL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		30分	採血後8時間以内
ヘモグロビン	SLS-ヘモグロビン法	男性: 13.7-16.8 女性: 11.6-14.8	g/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≤7, ≥20	○	—		30分	採血後8時間以内
ヘマトクリット	シースフローDC検出法	男性: 40.7-50.1 女性: 35.1-44.4	%	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		30分	採血後8時間以内
MCV	計算項目	83.6-98.2	fL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		30分	採血後8時間以内
MCH	計算項目	27.5-33.2	pg	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		30分	採血後8時間以内
MCHC	計算項目	31.7-35.3	g/dL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	—	○	—		30分	採血後8時間以内
血小板数	シースフローDC検出/ フローサイトメトリー法	158-348	× 10 ³ /μL	日本臨床検査標準化協議会 2022修正版(JCCLS)	≤30, ≥1000	○	—		30分	採血後8時間以内
網状赤血球	フローサイトメトリー法	5-25	%	臨床検査法提要 第35版	—	○	—		30分	採血後8時間以内
好中球	目視分類法	38-80	%	臨床検査法提要 第35版	—	○	—		採取容器: ⑤ 採取量: 2 mL 検体種別: 全血 搬送条件: 室温 保存期間: 1日	4時間
桿状核球	目視分類法	0.5-6.5	%	臨床検査法提要 第35版	—	○	—	4時間		採血後8時間以内
分葉核球	目視分類法	38-74	%	臨床検査法提要 第35版	—	○	—	4時間		採血後8時間以内
好酸球	目視分類法	0-8.5	%	臨床検査法提要 第35版	—	○	—	4時間		採血後8時間以内
好塩基球	目視分類法	0-2.5	%	臨床検査法提要 第35版	—	○	—	4時間		採血後8時間以内
単球	目視分類法	2-10	%	臨床検査法提要 第35版	—	○	—	4時間	採血後8時間以内	
リンパ球	目視分類法	16.5-49.5	%	臨床検査法提要 第35版	—	○	—	4時間	採血後8時間以内	
T・B細胞百分率	フローサイトメトリー法	CD3: 58-84 CD19: 5-24 NK: 5-38	%	スタンダード検査血液学 第3版	—	×	平日 15:00	採取容器: ⑤・その他 搬送条件: 室温 保存期間: 1-2日	2日	採血後5時間以内
T細胞サブセット	フローサイトメトリー法	CD4: 25-56 CD8: 17-44 CD4/CD8: 0.6-2.9	%	スタンダード検査血液学 第3版	—	×	平日 15:00		2日	採血後5時間以内
造血器悪性腫瘍 細胞検査	フローサイトメトリー法	—	—	—	—	×	平日 15:00	採取容器: ④・⑤・ その他 搬送条件: 室温 保存期間: 2日	数日	採血後5時間以内
細胞表面免疫 グロブリン	フローサイトメトリー法	—	—	—	—	×	平日 15:00		数日	採血後5時間以内
赤血球沈降速度	ウエスターグレン法との相関 (マンレー補正)	60分値 男性: 2-10 女性: 3-15	mm/hr	臨床検査法提要 第35版	—	×	平日 16:00	採取容器: ⑥ 採取量: 1.1 mL 検体種別: 全血 搬送条件: 室温 保存期間: 1日	50分	追加不可

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
PT(活性%)	計算項目	80-120	%	試薬添付文書	—	○	—	 <p>採取容器：③ 採取量：1.8 mL (小児用)：1.0 mL 検体種別：血漿 搬送条件：室温</p>	2時間以内	採血後4時間
PT(秒)	凝固時間法 トロンボプラスチン(ウサギ脳由来)	10.7-12.9	秒	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後4時間
PT-INR	計算項目	—	—	—	≥4.00	○	—		2時間以内	採血後4時間
APTT	凝固時間法 リン脂質(ウサギ脳由来)およびエラグ酸	24-39	秒	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後1時間
フィブリノーゲン	凝固時間法	200-400	mg/dL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後4時間
AT-Ⅲ	合成基質法	80-130	%	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後当日
P-FDP	ラテックス免疫比濁法	<5.0	μg/mL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後当日
SF (可溶性フィブリン)	ラテックス免疫比濁法	<7.0	μg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後当日
Dダイマー	ラテックス免疫比濁法	≤1.0	μg/mL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採血後当日
第ⅩⅢ因子抗原	ラテックス免疫比濁法	≥70	%	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		2時間以内	採血後8時間
トータルPAI-1	ラテックス免疫比濁法	<50	ng/mL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	追加不可
TAT	ラテックス免疫比濁法	<4.0	ng/mL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	追加不可

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
UN (U)	ウレアーゼGLDH法 (NH3消去法)	6.5-13.0 g/day	mg/dL	臨床検査法提要第35版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
Cre (U)	酵素法	0.5-1.5 g/day	mg/dL	臨床検査法提要第35版	—	○	—		2時間以内	採取後7日
UA (U)	ウリカーゼPOD法	0.4-1.2 g/day	mg/dL	臨床検査法提要第35版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
AMY (U)	JSCC標準化対応法 (4,6-エチリデン-G7-PNP基質)	(随時尿) 80-702 IU/L	U/L	シノテスト推奨基準範囲	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
IP (U)	酵素法	0.5-1.0 g/day	mg/dL	臨床検査法提要第35版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
Ca (U)	アルカリⅢ法	150-290 mg/day	mg/dL	臨床検査法提要第35版	—	×	平日 16:00		2時間以内	採取後7日
Na (U)	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	70-250 mmol/day	mmol/L	臨床検査法提要第35版	—	○	—		2時間以内	採取後当日
K (U)	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	25-100 mmol/day	mmol/L	臨床検査法提要第35版	—	○	—		2時間以内	採取後当日
Cl (U)	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	70-250 mmol/day	mmol/L	臨床検査法提要第35版	—	○	—		2時間以内	採取後当日
尿糖定量	HK-G-6-PDH法	(随時尿) 2-20 mg/dL (畜尿) 40-85 mg/day	mg/dL	臨床検査法提要第35版	—	○	—		2時間以内	採取後7日
尿蛋白定量	ピロガロールレッド法	31.2-120.0 mg/day	mg/dL	試薬添付文書	—	○	—	採取容器：⑦ 採取量：10 mL 検体種別：尿	2時間以内	採取後7日
尿蛋白/Cr比	計算項目	<0.15	g/gCr	CKD診療ガイドライン2018	—	○	—		2時間以内	採取後7日
尿中Alb	TIA法 (免疫比濁法)	(随時尿) <30 mg/gCr (時間尿) <20 mg/分 (畜尿) <30 mg/L	μg/mL	試薬添付文書	—	○	—	搬送条件：室温 保存期間：7日	2時間以内	採取後7日

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。


項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器	搬送条件	所要時間	追加可能時間	保存期間
血糖(グルコース) *	ブドウ糖酸化酵素(GOD)電極法	(空腹時) 73-109 (臨床判断値: <110)	mg/dL	日本臨床検査標準化協議会 (糖尿病診療ガイドライン2013)	外来: ≤50, ≥350 入院: ≥500	○	—	② 2 mL 血漿	室温	2時間以内	採血後当日中	7日
HbA1c (NGSP値) *	HPLC法	4.9-6.0 (臨床判断値: 4.6-6.2)	%	日本臨床検査標準化協議会 (日本糖尿病学会)	—	×	平日 16:00	② 2 mL 全血	室温	2時間以内	採血後4日	7日

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器	搬送条件	所要時間	追加可能時間	保存期間
NH3(アンモニア)	ドライケミストリー法	12-66	μg/dL	試薬添付文書	≥200	○	—	⑤ 2 mL 全血	氷冷	2時間以内	追加不可	1日
BNP	CLIA法 (化学発光免疫測定法)	≤18.4	pg/mL	試薬添付文書	—	○	—	⑤ 2 mL 血漿	室温	2時間以内	採血後4時間	1日
ACTH	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	7.2-63.3	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	⑤ 2 mL 血漿	氷冷	2時間以内	追加不可	7日



※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
糖定量	HK-G-6-PDH法	50-75	mg/dL	臨床検査法提要第35版	—	○	—		2時間以内	採取後当日
蛋白定量	ピロガロールレッド法	8-43	mg/dL	試薬添付文書	—	○	—		2時間以内	採取後7日
アルブミン定量	免疫比濁法 (TIA)	11.9-18.3	mg/dL	Medical Technology 2005 Vol. 33 No. 13 体腔液検査のすべて	—	○	—		2時間以内	採取後7日
Cl (L)	ISE電極希釈法 (A&T社製電極)	120-125	mmol/L	臨床検査法提要第35版	—	○	—		2時間以内	採取後当日
LDH	IFCC標準化対応法	≤25	U/L	臨床検査法提要第35版	—	○	—		2時間以内	採取後7日
細胞数	用手法	基準値 : <5 軽度増加 : 5.0-20 中等度増加 : 20-50 高度増加 : >50	個/μL	臨床検査法提要第35版	—	○	—	採取容器 : ⑦ 採取量 : 5 mL 検体種別 : 髄液	30分	追加不可
細胞種類	用手法	リンパ球 : 60-70 単球様細胞 : 20-30 多形核細胞 : 2.0-3.0 赤血球 : 0	%	臨床検査法提要第35版	—	×	平日 16:00	搬送条件 : 室温 保存期間 : 7日	4時間	追加不可

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間	
比重	屈折率法	1.005-1.030	—	US特別編集号第2版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
pH	試験紙法	4.5-7.5	—	US特別編集号第2版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
蛋白質	試験紙法	(-)	—	最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
ブドウ糖	試験紙法	(-)	—	最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
ケトン体	試験紙法	(-)	—	最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
潜血	試験紙法	(-)	—	最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
ウロビリノーゲン	試験紙法	normal	mg/dL	US特別編集号第2版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
ビリルビン	試験紙法	(-)	—	最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
白血球	試験紙法	(-)	—	最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
亜硝酸塩	試験紙法	(-)	—	最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
TP/CRE	試験紙法	normal	g/gCr	US特別編集号第2版	—	×	平日 16:00		40分	採取後4時間以内	
アルブミン	試験紙法	23.8mg/L以下	mg/L	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		採取容器：⑦ 採取量：10mL 検体種別：尿 搬送条件：室温	40分	採取後4時間以内
ALB/CRE	試験紙法	normal	mg/gCr	US特別編集号第2版	—	×	平日 16:00			40分	採取後4時間以内
蛋白半定量	試験紙法	陰性	mg/dL	最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版	—	×	平日 16:00			40分	採取後4時間以内
糖半定量	試験紙法	陰性	mg/dL	最新 尿検査 その知識と病態の考え方 第3版	—	×	平日 16:00	40分		採取後4時間以内	
RBC	フローサイトメトリー法	≤4	/HPF	尿沈渣検査法2010	—	×	平日 16:00		90分	採取後4時間以内	
WBC	フローサイトメトリー法	≤4	/HPF	尿沈渣検査法2010	—	×	平日 16:00		90分	採取後4時間以内	
扁平上皮	フローサイトメトリー法	≤4	/HPF	尿沈渣検査法2010	—	×	平日 16:00		90分	採取後4時間以内	
糞便Hb濃度	金コロイド凝集法	<100	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	⑧	1時間	—	
糞便Hb判定	金コロイド凝集法	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		1時間	—	
糞便Tf濃度	金コロイド凝集法	<50	ng/mL	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		1時間	—	
糞便Tf判定	金コロイド凝集法	(-)	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		1時間	—	
カルプロテクチン(糞便)	金コロイド凝集法	カットオフ値 142 μg/g便未満	μg/g便	試薬添付文書	—	×	平日 16:00	⑩	1時間	—	
尿素呼気試験 (採取バッグ測定)	炭酸ガス炭素同位体比分析法	(-) カットオフ値 Δ2.5‰未満	—	試薬添付文書	—	×	平日 16:00		1時間	—	

採取容器：⑧
採取量：専用容器
検体種別：便
搬送条件：室温



⑧

採取容器：⑩
採取量：専用容器
検体種別：呼気
搬送条件：室温



⑩

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
ABO式血液型検査	カラム凝集法/試験管法	A型、B型、O型、AB型	—	新輸血検査の実際 初版	A型、B型、 O型、AB型以外	○	—	⑨と⑩	20分	当日採血分
Rh(D)式血液型検査	カラム凝集法/試験管法	Rh(D)陽性、Rh(D)陰性	—	新輸血検査の実際 初版	Rh(D)陽性 Rh (D)陰性以外	○	—	⑨と⑩	20分	当日採血分
不規則抗体検査	カラム凝集法/試験管法	陰性	—	新輸血検査の実際 初版	—	○	—	⑨	40分	当日採血分
直接クームス試験	試験管法	陰性	—	新輸血検査の実際 初版	—	○	—	⑨	20分	当日採血分
間接クームス試験	カラム凝集法/試験管法	陰性	—	新輸血検査の実際 初版	—	○	—	⑨	30分	当日採血分
不規則抗体同定検査	試験管法	陰性	—	新輸血検査の実際 初版	—	×	平日 16:00	⑨を2本	6時間	当日採血分
交差適合試験	カラム凝集法/試験管法	適合	—	新輸血検査の実際 初版	不適合	○	—	⑨	40分	採血後3日以内
抗A・抗B抗体価 測定	カラム凝集法	IgM抗体価：陰性もしくは 1倍以上 IgG抗体価：陰性もしくは 2倍以上	—	新輸血検査の実際 初版	—	×	平日 16:00	⑨	2時間	当日採血分
HLA検査(組織適合性検査)	PCR-rSSO法	HLA-A、B、C、DRB1の各アレル	—	移植・輸血検査学	—	×	平日 16:00	⑨	5時間	当日採血分


採取容器：⑨
採取量：5 mL
検体種別：全血

搬送条件：室温
保存期間：3日



※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器等	所要時間	追加可能期間
pH	電極法	7.35~7.45	—	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	<7.2, >7.6	○	—		90秒	追加不可
PO ₂	電極法	80.0~100.0	mmHg	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	<50	○	—		90秒	追加不可
PCO ₂	電極法	35.0~45.0	mmHg	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	<20, >50	○	—		90秒	追加不可
HCO ₃ ⁻	電極法	19.0~30.0	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	<15, >40	○	—		90秒	追加不可
ABE	電極法	-6.0~6.0	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
SBC	電極法	20~29	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
tCO ₂ (b)	電極法	20~32	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
tHb	電極法	11.5~17.4	g/dL	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
SO ₂	電極法	75.0~99.0	%	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
O ₂ Hb	電極法	95.0~99.0	%	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
COHb	電極法	0.5~2.5	%	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
MetHb	電極法	0.4~1.5	%	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
RHb	電極法	1.0~5.0	%	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
tO ₂	電極法	12.0~24.0	Vol%	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
O ₂ CAP	電極法	—	Vol%	—	—	○	—	90秒	追加不可	
Na ⁺	電極法	135.0~148.0	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	≤115, ≥165	○	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 採取容器：② 採取量：1 mL以上 検体種別：全血 搬送条件 ：すみやかに測定 保存期間 ：保存不可 </div>	90秒	追加不可
K ⁺	電極法	3.50~4.50	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	≤2.0, ≥6.5	○	—		90秒	追加不可
Cl ⁻	電極法	98.0~107.0	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
Ca ²⁺	電極法	1.120~1.320	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—		90秒	追加不可
Ca(7.4)	電極法	—	mmol/L	—	—	○	—		90秒	追加不可
Anion gap	電極法	21~15	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—	90秒	追加不可	
Glu	電極法	60~110	mg/dL	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	≤50, ≥350	○	—	90秒	追加不可	
Lac	電極法	0.4~2.2	mmol/L	ラジオメータ社推奨基準範囲 臨床検査法提要	—	○	—	90秒	追加不可	

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。

項目	測定方法	基準範囲	報告単位	基準範囲出典	緊急連絡値	24時間 対応	受付最終時間	採取容器	採取量	検体種別	所要時間	追加可能期間	保存期間
一般細菌	—	—	—	—	—	×	平日 15:00	—	—	—	1週間以内	—	7日
塗抹	グラム染色	—	—	臨床微生物検査 ハンドブック第5版	—	×	平日 15:00	—	—	材料種別	当日中	—	—
培養同定	—	—	—	臨床微生物検査 ハンドブック第5版	—	×	平日 15:00	—	—	材料種別	4日以内	—	—
感受性	—	—	—	CLSI準拠	—	×	平日 15:00	—	—	材料種別	4日以内	—	—
嫌気培養	—	—	—	臨床微生物検査 ハンドブック第5版	—	×	平日 15:00	—	—	材料種別	7日以内	—	—
抗酸菌	—	—	—	—	—	×	平日 15:00	—	—	—	陰性判定 8週間	—	—
塗抹	チールネルゼン染色	—	—	抗酸菌検査ガイド 2020	陽性	×	平日 15:00	—	—	材料種別	当日中	—	—
液体培養	MGIT法	—	—	抗酸菌検査ガイド 2020	陽性	×	平日 15:00	—	—	材料種別	陰性判定 6週間	—	—
同定	核酸増幅法 (TRC法)	—	—	抗酸菌検査ガイド 2020	結核菌陽性	×	平日 15:00	—	—	材料種別	5日以内	—	2週間
マイコバクテリウム抗原	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	陽性	×	平日 16:00	—	—	MGIT陽性検体	30分以内	—	1年
β-Dグルカン	比濁法	<11.0	pg/mL	試薬添付文書	—	×	平日 15:00	⑭	3 mL	全血	3時間以内	当日採取分	1日
血液培養 (嫌気・好気)	二酸化炭素蛍光センサー	陰性	—	臨床微生物検査 ハンドブック第5版	陽性	○	—	⑪	8-10mL 0.5-5mL	全血	陰性判定 5日間	—	—
原中肺炎球菌抗原抗原	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑦	3 mL	尿/髄液	30分以内	当日採取分	7日
原中レジオネラ抗原	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑦	—	尿	30分以内	当日採取分	7日
GDトキシシン	イムノクロマト法	GDH(-)/トキシシン(-)	—	試薬添付文書	—	○	—	⑬	—	糞便	1時間以内	当日採取分	7日
GDトキシシン(遺伝子検査)	リアルタイムPCR法	陰性	—	試薬添付文書	—	×	平日17:00	⑬	—	糞便	3日以内	—	7日
ロタウイルス抗原	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑬	—	糞便	30分以内	当日採取分	7日
ノロウイルス抗原	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑬	—	糞便	30分以内	当日採取分	7日
インフルエンザ	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑯	—	鼻咽頭	30分以内	—	—
RSウイルス	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑯	—	鼻咽頭	30分以内	—	—
アデノウイルス	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑯	—	鼻咽頭 眼脂	30分以内	—	—
ヒトメタニューモウイルス	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑯	—	鼻咽頭	30分以内	—	—
溶連菌検査(A群)	イムノクロマト法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑰	—	上咽頭	30分以内	—	—
新型コロナウイルス/インフルエンザPCR(鼻咽頭)	リアルタイムPCR法	陰性	—	試薬添付文書	—	○	—	⑳	3 mL	鼻咽頭	1日以内	—	—
新型コロナウイルスPCR(下気道、皮膚擦過)	リアルタイムPCR法	陰性	—	試薬添付文書	—	×	皮膚擦過 24時間 下気道 平日17時	㉑	—	下気道由来 皮膚	1日以内	—	—
血中アデノ	リアルタイムPCR法	<10 copies/μL	copies/μL	—	—	×	平日17:00	⑮	6 mL	血清	3日以内	—	—
排泄アデノ(尿)	リアルタイムPCR法	<10 copies/μL	copies/μL	—	—	×	平日17:00	㉑	2 mL	尿	3日以内	—	—
排泄アデノ(唾液)	リアルタイムPCR法	<10 copies/μL	copies/μL	—	—	×	平日17:00	⑬	2 mL	唾液	3日以内	—	—
サイトカイン	ELISA法	該当なし	pg/mL	—	—	×	平日17:00	⑮	6 mL	血清	—	—	—
アデノ抗体価	NT法	4倍未満(陰性)	倍	—	—	×	平日17:00	⑮	6 mL	血清	7日	—	—

※1 基準範囲には、生物学的基準範囲・臨床判断値・カットオフ値を含む。
なお、アスタリスク(*)が付いている項目を臨床判断値を追記。

※2 所要時間は、各検査部門に検体が提出されてからの時間である。